

広島大学 生命動態システム科学推進拠点事業
核内クロマチン・ライブダイナミクスの数理研究拠点
キックオフ会議のご案内

平成 25 年 2 月 14 日

広島大学は、平成 24 年度文部科学省・生命動態システム科学推進拠点事業に採択され、「核内クロマチン・ライブダイナミクスの数理研究拠点」形成に向けた取り組みを開始しました。この事業では、本学理学研究科・数理分子生命理学専攻が長年進めてきた「数理生命科学」とよぶ融合研究領域の教育・研究に対する取り組みを基盤として、原爆放射線医科学研究所など本学の他部局の研究者との協力のもとに、「クロマチン動態の数理科学」に焦点を定めて集中的に新たな融合研究を展開します。

下記の日程で、拠点事業開始を記念した国際シンポジウムを開催します。今回は、主として国内外のクロマチン構造研究の先端研究者に参加いただきこの分野の現状について議論していただきます。

ご多忙の折とは存じますが、本シンポジウムへの参加をお誘い申し上げます。

■ 第 1 回 クロマチン動態数理拠点国際シンポジウム

日時： 2013 年 3 月 15 日（金）、16 日（土）

場所： 広島大学・理学研究科 E203 大会議室（東広島キャンパス）

シンポジウム参加無料

但し懇親会（3 月 15 日 18:00 から、西条 Hakuwa Hotel）参加の場合には、参加費 5,000 円をいただきます。

懇親会参加者は、事前登録を 3 月 8 日 までにお願ひします。

連絡先：事務担当 畑 真由美 E-mail: hata7446@hiroshima-u.ac.jp

プログラム 別添参照ください。

講演タイトルなど詳細は以下の拠点ホームページにて追ってお知らせ致します。

<http://www.mls.sci.hiroshima-u.ac.jp/chrom/index.html>

皆様の参加をお待ちしております。

核内クロマチン・ライブダイナミクスの数理研究拠点
代表研究者
広島大学・理学研究科数理分子生命理学専攻 教授
楯 真一

1st International Symposium of the Mathematics on Chromatin Live Dynamics

2013.03.14-03.15 at Hiroshima University

15 March (Fri)

- 10:00-10:05 Opening Address by Prof. Asahara,
The president of Hiroshima University
- 10:05-10:20 Brief introduction to the research project: the Mathematics on
Chromatin Live Dynamics.
- 10:20-11:30 Christoph Cremer: Institute of Molecular Biology gGmbH (IMB)
(Germany)
- 11:30-13:30 Lunch
- 13:30-14:10 Vincent Dion: Friedrich Miescher Institute (Switzerland)
- 14:10-14:40 Satoshi Tashiro: Hiroshima Univ. (Japan)
- 14:40-15:10 Yusuke Miyanari: IGBMC (France)
- 15:10-15:30 break
- 15:30-16:00 Yuichi Togashi: Kobe Univ. (Japan)
- 16:00-16:30 Akinori Awazu: Hiroshima Univ. (Japan)
- 16:30-17:00 Shin-ichi Tate: Hiroshima Univ. (Japan)
- 18:00 Banquet (Hakuwa Hotel)

16 March (Sat.)

- 9:30-10:15 Yasushi Hiraoka: Osaka Univ. (Japan)
- 10:15-11:00 Hiroshi Kimura: Osaka Univ. (Japan)
- 11:00-11:30 Hiroshi Ide: Hiroshima Univ. (Japan)
- 11:30-13:00 Lunch
- 13:00- Post Conference Lecture Course
- Prof. Christoph Cremer (1 hour x 2)
“Nanoscale Imaging of Chromatin: Quantitative Fluorescence
Microscopy at molecular optical Resolution”
- Dr. Vincent Dion
"Chromatin dynamics during DNA repair: implications for
human disease" (1 hour x 1)

Mathematics on Chromatin Live Dynamics

1st International Symposium of the Mathematics on Chromatin Live Dynamics

核内クロマチン・ライブダイナミクスの数理研究拠点

平成24年度採択 文部科学省・生命動態システム科学推進拠点事業
広島大学「核内クロマチン・ライブダイナミクスの数理研究拠点形成」記念シンポジウム

第1回クロマチン動態数理研究拠点国際シンポジウム

平成25年3月15(金) 16日(土)

3月15日 10:00 開始

広島大学・理学研究科大会議室 (E203)
東広島キャンパス

予約不要・参加費無料

3月15日 18:00より懇親会 (Hakuwa Hotel参加費5,000円)
懇親会参加者のみ、e-mailにて事前に下記までご連絡ください。

基調講演者

Prof. Christoph Cremer

Institute of Molecular Biology GmbH (IMB) (Germany)

"Nanoscale Imaging of Chromatin:

Quantitative Fluorescence Microscopy at molecular optical Resolution"

Dr. Vincent Dion

Friedrich Miescher Institute (Switzerland)

"Live imaging of damaged DNA: implications for genome stability"

招待講演者

平岡 泰 先生 (大阪大学)
木村 宏 先生 (大阪大学)
富樫祐一 先生 (神戸大学)
宮成悠介 先生 (IGMBC, France)

研究拠点メンバー講演者

田代 聡 (原医研)
井出 博 (理学研究科)
栗津暁紀 (理学研究科)
楯 真一 (理学研究科)

詳細は、クロマチン動態数理研究拠点HPをご覧ください。
<http://www.mls.sci.hiroshima-u.ac.jp/chrom/index.html>

問い合わせ：畑 真由美 082-424-4384 (内線4384) E-mail:hata7446@hiroshima-u.ac.jp